

## 第19回チャレンジ賞・サフラン賞 受賞のことば

視覚障害者支援総合センター（引田秋生理事長。東京都杉並区）が主催するチャレンジ賞（男性）とサフラン賞（女性）は、30歳代までの視覚障害者を対象に、職業自立をし、視覚障害者の文化や福祉の向上に寄与する人材に贈られます。第19回の受賞者は、チャレンジ賞は外谷<sup>そとや</sup>涉<sup>しやう</sup>さん（34歳、株式会社ラックサイバー・グリッド・ジャパン）、サフラン賞は畝本<sup>あぜもと</sup>彩美<sup>あやみ</sup>さん（31歳、株式会社オズビジョン）です。

チャレンジ賞を受賞された外谷涉さんは、盛岡市出身。網膜芽細胞腫のために全盲となり、2歳のときに障害者手帳を取得しました。現在は、株式会社ラックサイバー・グリッド・ジャパン 次世代セキュリティ研究所のGL（グループリーダーに相当する役職）としてご活躍中です。また、「サイバーセキュリティに関する総務大臣奨励賞」を受賞するなど、視覚障害を持つ後進にエンジニアへの道を拓く活動にも取り組まれています。

サフラン賞を受賞された畝本彩美さんは、横浜市出身。先天性の弱視で、現在の両眼視力は0.03です。株式会社オズビジョン広報室の社員として、公式HP、公式SNSでの情報発信や情報管理、プレスリリースの作成、配信などの業務に従事されています。さらに、「明確な目標」を実現するため、会社員、大学院生、障害平等研修ファシリテーターという三足の草鞋を履きながら、意欲的な活動を続けていらっしゃいます。

それでは、お二人の「受賞のことば」をお届けします。